

2024年度北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス		【科 目】 現代の国語
単位数：2 単位	教科書：新編現代の国語（東京書籍）	学習書・入門書・補助教材（有）・無
試験：2 回	報告課題：6 回	最低面接時間数：2

1 学習の到達目標

- 自ら読む、朗読を聞き取るなど、文章に繰り返しあたることで、筆者が表現したいことを正確に捉えようとする姿勢を身につけましょう。
- 文章の種類を踏まえて、内容・文章の構成・論理の展開を的確に捉え、要点を把握して、正確に言い表す・書き記す力を養いましょう。

2 科目の特色

「現代の国語」は、その名が示すとおり、古典を除いた「現代」の、実社会に必要な「国語」の知識や技能を、幅広く身につけるために設けられた科目です。「言語文化」とともに、以降の国語学習の基本となる学習をします。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

①評価の観点（評価は次の3つの観点から行います）

知識・技能	文章の種類、表現法、語句の意味・用法などを理解しているか。
思考・判断・表現	文章の内容、構成、論理の展開を捉え、要点を把握しているか。
主体的に学習に取り組む態度	計画的な学習の実践に意欲的に取り組んでいるか。

②評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単元名（指導内容）	提出期間
第1回	【自己を見つめる】「ルリボシカミキリの青」（福岡伸一）	5月 1日～ 5月22日
第2回	【他者に出会う】「未来をつくる想像力」（石田英敬）	6月19日～ 6月28日
第3回	【視野を広げる】「無彩の色」（港千尋）	7月21日～ 7月30日
第4回	【視野を広げる】「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」（塚谷裕一）	9月20日～ 9月29日
第5回	【世界とつながる】「りんごのほっぺ」（渡辺美佐子）	11月12日～11月21日
第6回	【未来に目を向ける】「真の自立とは」（鷲田清一）	1月 6日～ 1月15日
中間試験	*詳細は「通教YUHO第2号」に掲載	
終末試験	*詳細は「通教YUHO第3号」に掲載	

5 学習のすすめかた

- 報告課題に取り組むときは、まず教科書の本文をしっかりと読み、解説のヒントを参考にしながら解答しましょう。
 - 面接に出席するときは、事前に作品を読み、報告課題に取り組んでおきましょう。
 - 面接は同じ回のレポートの時にだけまとめて出席したりせず、バランスよく出席してください。
- また、最低面接時数にこだわらず、各報告課題前に受講すると効果的に学習を進めることができます。

令和6年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科 目】 言語文化	単位数：2単位
教科書：新編 言語文化（東京書籍）		
学習書： 有 ・ 無	入門書： 有 ・ 無	補助教材： 有 ・ 無
試験：実技 回 筆記2回	報告課題： 全 6 回	最低面接時間数 2 時間

1 学習の到達目標

- 小説における物語の展開や情景描写、登場人物の心情などを的確にとらえる。
- 「古文」「漢文」学習の基礎を身に付け、古典学習の意義を理解する。

2 科目の特色

「言語文化」は古代から現代までのさまざまな文学的な文章を通じて、受け継がれてきた日本の言語文化への理解を深めるための科目です。「現代の国語」とともに、今後の国語学習の基礎となることを学習する必修科目です。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

①評価の観点

知識・技能	漢字や語句の意味、古典を読むための基礎知識等を理解している。
思考・判断・表現	文章の内容や展開および設問の意図を理解している。
主体的に学習に取り組む態度	自主的・計画的に学習を継続している。

②評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名（指導内容）	提出期間
第1回	【小説1】「とんかつ」（場面展開・主人公の変化の読み取り）	5/1～5/22
第2回	【古文入門】「児のそら寝」「いろは歌」（古文の基礎）	6/17～6/26
第3回	【漢文入門】訓読・格言・「守株」（訓読の基礎）	7/20～7/29
第4回	【小説2】「羅生門」（情景描写・心情の変化の読み取り）	9/18～9/27
第5回	【古文随筆】「徒然草」・「枕草子」（随筆の読解・比較）	11/10～11/19
第6回	【漢文唐詩】「春暁」・「春望」（唐詩の読解・比較）	1/6～1/15
中間試験	「通教YUHO第2号」に試験範囲・要点を掲載します。	
終末試験	「通教YUHO第3号」に試験範囲・要点を掲載します。	

5 学習のすすめかた

- 報告課題には、教科書の本文・学習書・解説をしっかりと読みながら取り組んでください。
- 面接に出席するときは、事前に作品を通読するとともに、報告課題に取り組んでおきましょう。
- 面接は同じ回のレポートの時にまとめて出席したりせず、バランスよく出席してください。また、最低面接時数にこだわらず、各報告課題ごとに受講すると効果的な学習になります。

令和6年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科 目】 論理国語	単位数：4単位
教科書：『新編論理国語』 東京書籍		
学習書：有	入門書：無	補助教材：無
試験：筆記2回	報告課題：全12回	最低面接時間数 4時間

1 学習の到達目標

- 近代以降の様々な文章を的確に読み取り、物の見方、感じ方、考え方を深める。
- 必要な情報を用い、相手や課題、目的に応じた適切な文章表現をする能力を高める。
- 自ら読書し課題に取り組むことで国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 科目の特色

- 「現代の国語」を発展させた内容です。現代の論理的な文章や実用的文章に触れて関心を深めます。また読書と文章表現を通して読解力や論理的思考力等を養います。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

① 評価の観点

知識・技能	文章の種類、表現法、語句の意味・用法などを理解しているか。
思考・判断・表現	文章の内容、構成、論理の展開を捉え、要点を把握しているか。
主体的に学習に取り組む態度	計画的な学習の実践に意欲的に取り組んでいるか。

② 評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名（指導内容）	提出期間
第1回	世界をつくり替えるために	4.28－5.15
第2回	学ぶことと人間の知恵	5.26－6.4
第3回	ラップトップ抱えた石器人	6.14－6.23
第4回	思考の肺活量	7.3－7.12
第5回	複数の「わたし」	7.25－8.2
第6回	豊かさと生物多様性	9.6－9.17
第7回	鏡としてのアンドロイド	10.6－10.15
第8回	言葉は「ものの名前」ではない	11.6－11.15
第9・10回	知識における作者性と構造的性	12.6－12.15
第11・12回	未来のありか	1.6－1.15
中間試験	「通教YUHO第2号」に試験範囲・要点を掲載	
終末試験	「通教YUHO第3号」に試験範囲・要点を掲載	

5 学習のすすめかた

- 教科書・報告課題の解説・学習書をよく読みましょう。
- 漢字の読みや語句の意味がわからないときには辞書で調べましょう。
- 面接に出席する前までに、報告課題に取り組んでおきましょう。

令和6年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科 目】 文学国語	単位数：4単位
教科書：『標準文学国語』 第一学習社		
学習書：有	入門書：無	補助教材：無
試験：筆記2回	報告課題：全12回	最低面接時間数 4時間

1 学習の到達目標

- 近代以降の様々な文章を的確に読み取り、物の見方、感じ方、考え方を深める。
- 必要な情報を用い、相手や課題、目的に応じた適切な文章表現をする能力を高める。
- 自ら読書し課題に取り組むことで国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 科目の特色

- 「現代の国語」および「言語文化」の現代文領域を発展させた内容です。明治時代以降の様々な小説や詩歌などの文学作品に触れて関心を深めます。また読書と文章表現を通して読解力や論理的思考力等を養います。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

① 評価の観点

知識・技能	文章の種類、表現法、語句の意味・用法などを理解しているか。
思考・判断・表現	文章の内容、構成、論理の展開を捉え、要点を把握しているか。
主体的に学習に取り組む態度	計画的な学習の実践に意欲的に取り組んでいるか。

② 評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名（指導内容）	提出期間
第1回	小説 デューク	4.28－5.15
第2回	小説 ナイン	5.26－6.4
第3回	随想 花のいざない	6.14－6.23
第4回	詩 わたしが一番きれいだったとき / 永訣の朝	7.3－7.12
第5回	小説 こころ	7.25－8.2
第6回	小説 相棒	9.6－9.17
第7回	小説 卒業	10.6－10.15
第8回	随想 真珠の耳飾りの少女	11.6－11.15
第9・10回	小説 バグダッドの靴磨き	12.6－12.15
第11・12回	小説 山月記	1.6－1.15
中間試験	「通教YUHO第2号」に試験範囲・要点を掲載	
終末試験	「通教YUHO第3号」に試験範囲・要点を掲載	

5 学習の進め方

- 教科書・報告課題の解説・学習書をよく読みましょう。
- 漢字の読みや語句の意味がわからないときには辞書で調べましょう。
- 面接に出席する前までに、報告課題に取り組んでおきましょう。

令和6年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス		【科目】 国語表現	
単位数：3単位	教科書：国語表現（教育出版）	学習書・ 参考書 ・補助教材： ☒ ・無	
試験：2回	報告課題：9回	最低面接時間：3	

1 学習の到達目標

- 正しい表記の仕方や分かりやすい文章の書き方を学ぶ。
- ミニ小論文を書くことで、論理的思考と論理的表現を学ぶ。
- 敬語・電子メール・会議など現代の実用的なシーンに対応した知識を学ぶ。

2 科目の特色

人間社会に特有な意思伝達手段としての言葉に着目し、初歩から中程度のスキルを訓練する。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

①評価の観点（評価は次の3つの観点から行う）

関心・意欲・態度	レポートや面接に対して、積極的に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	自分の考えや意見を論理的、整合的に述べているか。
知識・理解	基本的な言語知識を習得したか。

②評価方法

- I R（レポート）：報告課題と添削指導
- II S（面接）：面接指導
- III T（テスト）：年2回の定期試験（中間と終末）
- IV その他：

4 年間学習計画

報告課題・試験	単元名（指導内容）	提出期間
第1回	コミュニケーションのために・文章表現の基礎	4.30- 5.19
第2回	小論文Ⅰ	6. 5- 6.14
第3回	人とつながる言葉	7. 1- 7.10
第4回	声・言葉遊び・言葉を届ける	7.24- 8. 1
第5回	小論文Ⅱ 課題文型	9. 6- 9.13
第6回	小論文Ⅱ データ型	10. 2-10.11
第7回	話し合いの方法	11. 10-11.19
第8回	メディアリテラシー	12. 6-12.15
第9回	社会に働きかける	1. 6- 1.15
中間試験	「通教YUHO第2号」に試験範囲・要点を掲載します。	
終末試験	「通教YUHO第3号」に試験範囲・要点を掲載します。	

5 学習のすすめかた

- 報告課題の解説をよく読みましょう。
- 知らないことは、辞書やインターネットでよく調べましょう。
- 面接に出席する前に、報告課題に必ず取り組みましょう。

令和6年度 北海道有朋高等学校通信制課程 シラバス		【科 目】 古典探究	単位数：4単位
教科書：標準 古典探究（第一学習社）			
学習書： 有 ・ 無	入門書： 有 ・ 無	補助教材： 有 ・ 無	
試験：筆記2回	報告課題：全12回	最低面接時間数：4時間	

1 学習の到達目標

- 古文、漢文を読むために必要な知識や能力を身に付けましょう。
- 文章の種類を踏まえて、内容・文章の構成・論理の展開・テーマを捉え、自分の考えを深めましょう。
- 伝統的な日本らしさと現代とを比較したり、外国との関わりについて考えたりしてみましょう。

2 科目の特色

古文・漢文の作品を読み、日本の伝統的な言語文化への理解を深めます。先人のものの見方や考え方を知り、自分の感じ方や考え方を広げ、現代や外国の文化とのつながりについて考えてみましょう。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

① 評価の観点

知識・技能	語句の意味・用法、文法、表現法などを理解しているか。
思考・判断・表現	文章の種類、構成、内容、テーマを理解しているか。
主体的に学習に取り組む態度	自主的かつ計画的に学習に取り組んでいるか。

② 評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名（指導内容）	提出期間
第1回	古文：説話『十訓抄』	4月28日～5月15日
第2回	漢文：故事・寓話「推敲」	5月26日～6月4日
第3回	古文：和歌・俳諧『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』	6月14日～6月23日
第4回	漢文：諸家の思想『孟子』	7月3日～7月12日
第5回	古文：物語『伊勢物語』	7月25日～8月2日
第6回	漢文：名家の文章『昌黎先生文集』	9月6日～9月17日
第7回	古文：随筆『方丈記』	10月6日～10月15日
第8回	古文：日記『紫式部日記』	11月6日～11月15日
第9・10回	漢文：三国志の世界『十八史略』	12月6日～12月15日
第11・12回	古文：物語『源氏物語』	1月6日～1月15日
中間試験	第1～3回から出題。詳細は「通教YUHO第2号」に掲載します。	
終末試験	第5～7回から出題。詳細は「通教YUHO第3号」に掲載します。	

5 学習のすすめかた

まずは教科書本文を声に出して読み、次に口語訳を読んで内容をつかんでください。それから学習書や解説を参考にして自力で報告課題に取り組んでみましょう。各報告課題の提出前に面接に出席して疑問点などを解消し、理解を深めましょう

2024年度北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科 目】 現代の国語 <u>連携</u>	
単位数：2 単位	教科書：新編現代の国語（東京書籍）	学習書・入門書・補助教材 <u>有</u> ・無
試験：2 回	報告課題：6 回	最低面接時間数：2

1 学習の到達目標

- 自ら読む、朗読を聞き取るなど、文章に繰り返しあたることで、筆者が表現したいことを正確に捉えようとする姿勢を身につけましょう。
- 文章の種類を踏まえて、内容・文章の構成・論理の展開を的確に捉え、要点を把握して、正確に言い表す・書き記す力を養いましょう。

2 科目の特色

「現代の国語」は、その名が示すとおり、古典を除いた「現代」の、実社会に必要な「国語」の知識や技能を、幅広く身につけるために設けられた科目です。「言語文化」とともに、以降の国語学習の基本となる学習をします。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

①評価の観点（評価は次の3つの観点から行います）

知識・技能	文章の種類、表現法、語句の意味・用法などを理解しているか。
思考・判断・表現	文章の内容、構成、論理の展開を捉え、要点を把握しているか。
主体的に学習に取り組む態度	計画的な学習の実践に意欲的に取り組んでいるか。

②評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単元名（指導内容）	提出期間
第1回	【自己を見つめる】「ルリボシカミキリの青」（福岡伸一）	4月28日～5月17日
第2回	【他者に出会う】「未来をつくる想像力」（石田英敬）	6月9日～6月18日
第3回	【視野を広げる】「無彩の色」（港千尋）	7月12日～7月21日
第4回	【視野を広げる】「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」（塚谷裕一）	9月3日～9月12日
第5回	【世界とつながる】「りんごのほっぺ」（渡辺美佐子）	10月29日～11月7日
第6回	【未来に目を向ける】「真の自立とは」（鷺田清一）	12月6日～12月15日
中間試験	*詳細は「通教YUHO第2号」に掲載	
終末試験	*詳細は「通教YUHO第3号」に掲載	

5 学習のすすめかた

- 報告課題に取り組むときは、まず教科書の本文をしっかりと読み、解説のヒントを参考にしながら解答しましょう。
 - 面接に出席するときは、事前に作品を読み、報告課題に取り組んでおきましょう。
 - 面接は同じ回のレポートの時にだけまとめて出席したりせず、バランスよく出席してください。
- また、最低面接時数にこだわらず、各報告課題前に受講すると効果的に学習を進めることができます。

令和6年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科 目】 言語文化（連携）	単位数：2単位
教科書：新編 言語文化（東京書籍）		
学習書： 有 ・ 無	入門書： 有 ・ 無	補助教材： 有 ・ 無
試験：実技 回 筆記2回	報告課題： 全 6 回	最低面接時間数 2 時間

1 学習の到達目標

- 小説における物語の展開や情景描写、登場人物の心情などを的確にとらえる。
- 「古文」「漢文」学習の基礎を身に付け、古典学習の意義を理解する。

2 科目の特色

「言語文化」は古代から現代までのさまざまな文学的な文章を通じて、受け継がれてきた日本の言語文化への理解を深めるための科目です。「現代の国語」とともに、今後の国語学習の基礎となることを学習する必修科目です。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

①評価の観点

知識・技能	漢字や語句の意味、古典を読むための基礎知識等を理解している。
思考・判断・表現	文章の内容や展開および設問の意図を理解している。
主体的に学習に取り組む態度	自主的・計画的に学習を継続している。

②評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名（指導内容）	提出期間
第1回	【小説1】「とんかつ」（場面展開・主人公の変化の読み取り）	5/1～5/22
第2回	【古文入門】「児のそら寝」「いろは歌」（古文の基礎）	6/17～6/26
第3回	【漢文入門】訓読・格言・「守株」（訓読の基礎）	7/20～7/29
第4回	【小説2】「羅生門」（情景描写・心情の変化の読み取り）	9/18～9/27
第5回	【古文随筆】「徒然草」・「枕草子」（随筆の読解・比較）	11/10～11/19
第6回	【漢文唐詩】「春暁」・「春望」（唐詩の読解・比較）	1/6～1/15
中間試験	「通教YUHO第2号」に試験範囲・要点を掲載します。	
終末試験	「通教YUHO第3号」に試験範囲・要点を掲載します。	

5 学習のすすめかた

- 報告課題には、教科書の本文・学習書・解説をしっかりと読みながら取り組んでください。
- 面接に出席するときは、事前に作品を通読するとともに、報告課題に取り組んでおきましょう。
- 面接は同じ回のレポートの時にまとめて出席したりせず、バランスよく出席してください。また、最低面接時数にこだわらず、各報告課題ごとに受講すると効果的な学習になります。

令和6年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科 目】 文学国語（連携）	単位数：4単位
教科書：『標準文学国語』 第一学習社		
学習書：有	入門書：無	補助教材：無
試験：筆記2回	報告課題：全12回	最低面接時間数 4時間

1 学習の到達目標

- 近代以降の様々な文章を的確に読み取り、物の見方、感じ方、考え方を深める。
- 必要な情報を用い、相手や課題、目的に応じた適切な文章表現をする能力を高める。
- 自ら読書し課題に取り組むことで国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 科目の特色

- 「現代の国語」および「言語文化」の現代文領域を発展させた内容です。明治時代以降の様々な小説や詩歌などの文学作品に触れて関心を深めます。また読書と文章表現を通して読解力や論理的思考力等を養います。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

① 評価の観点

知識・技能	文章の種類、表現法、語句の意味・用法などを理解しているか。
思考・判断・表現	文章の内容、構成、論理の展開を捉え、要点を把握しているか。
主体的に学習に取り組む態度	計画的な学習の実践に意欲的に取り組んでいるか。

② 評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名（指導内容）	提出期間
第1回	小説 デューク	4.28－5.15
第2回	小説 ナイン	5.26－6.4
第3回	随想 花のいざない	6.14－6.23
第4回	詩 わたしが一番きれいだったとき / 永訣の朝	7.1－7.11
第5回	小説 こころ	7.24－8.2
第6回	小説 相棒	9.4－9.12
第7回	小説 卒業	10.4－10.13
第8回	随想 真珠の耳飾りの少女	11.5－11.14
第9・10回	小説 バグダッドの靴磨き	12.5－12.14
第11・12回	小説 山月記	1.6－1.15
中間試験	「通教YUHO第2号」に試験範囲・要点を掲載	
終末試験	「通教YUHO第3号」に試験範囲・要点を掲載	

5 学習の進め方

- 教科書・報告課題の解説・学習書をよく読みましょう。
- 漢字の読みや語句の意味がわからないときには辞書で調べましょう。
- 面接に出席する前までに、報告課題に取り組んでおきましょう。